

議会広報広聴委員会記録

令和7年7月23日（水）

13時31分～15時38分

第4委員会室

【出席者】村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、
柳楽委員、上野委員、西田委員、川神委員

【議長団】

【事務局】小寺主任主事

議題

1 はまだ議会だよりVol. 78の編集について……………資料1

(1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-4	肥後委員 大谷委員	表紙、ポイント、トピックス、お詫びと訂正、 議案の賛否、個人一般質問（3名）
5-8	柳楽委員 沖田委員	個人一般質問（16名）
9-12	上野委員 川上委員	個人一般質問（1名）、地域井戸端会報告、 まるよみ01～02
13-16	西田委員 川神委員	まるよみ03～04、委員会活動レポート、 議会改革度調査、あとかきほか

(2) その他

2 地域井戸端会の反省について

(1) 委員間で協議

(2) その他

3 はまだ市民一日議会の反省について

(1) 委員間で協議

(2) その他

4 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

〔 13時 31分 開議 〕

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を開会する。

本日は、大谷委員と西田委員から欠席の届出があった。出席委員は8名であり、定足数に達しているので、会議を進める。

冒頭に、今回から議会広報広聴委員に就任された柳楽委員から、一言求める。

○柳楽委員

長い間、議会広報広聴委員から外れていたのですが、私が委員だったときと比べてもかなり紙面が変わっていると感じる。いろいろなやり方も変わってきているかと思うので、皆に教えていただきながら、委員として尽力したい。

○村武委員長

それでは、議題に入る。

1 はまだ議会だよりVol. 78の編集について

(1) 校正作業

○村武委員長

本日は編集作業をお願いします。

それでは、まず事務局から説明をお願いします。

○小寺主任主事

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

校正に入りたい。それぞれ担当委員が決まっているが皆もう見ておられるか。

(「はい」という声あり)

では進めていきたい。

(以下、校正作業)

以上で78号の編集についての議題を終了する。

(2) その他

その他、何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 地域井戸端会の反省について

(1) 委員間で協議

○村武委員長

地域井戸端会は全ての日程を終了し、全員協議会でも報告済みだが、来年度の実施に向けて、反省点や改善すべき点があれば意見をいただきたい。

○沖田委員

会場を28か所に細分化したことで、一定の成果はあった。しかし、参加者の層に偏りがある点は否めない。地域に出向くことは大事だが、業界団体や委員会所管の関係団体などへの意見聴取にも、より目を向けていくべきである。地域井戸端会の在り方を常に見直していく必要がある。

○村武委員長

委員会の関係団体との意見交換は、各委員会で既に行っている。議会広報広聴委員会として新たにに取り組むというよりは、既存の活動で良いと考えるが、これも含めて今後の課題としたい。

○柳楽委員

現在はまちづくりセンターを中心に開催しているが、分館のような、より小さな単位の場所へも目を向けるべきである。センターまで出向くのが難しい方もいる。

○川上委員

期間を現在の1か月から3か月程度に広げ、その中で小規模な集会、例えば町内会の会合などにも積極的に出向いていく仕組みをつくってはどうか。

また、参加者から「去年言ったことへのフィードバックがない」という意見があったと聞く。この点への対応も課題である。

○村武委員長

いただいた意見へのフィードバックについては、以前は一つ一つ丁寧に回答案を作成していたが、膨大な作業量になるため、現在の形式になった経緯がある。難しい課題だが、貴重な意見として受け止める。

○柳楽委員

テーマを設定して意見を聞くほうが、議論が深まり、回答もしやすくなる。最近の地域井戸端会では、様々な意見が出て、何について話しているのか分かりにくくなる場面もあった。

○川上委員

テーマを持つことの難しさはある。議員は市民の様々な話を聞くのが仕事であり、テーマを設けることで、それ以外の意見が出しにくくなる懸念もある。

○沖田委員

かつてテーマを設けて実施した際、テーマに関係ない話に終始してしまい、議論が深まらなかった経緯がある。そのため、自由な意見交換の場として、地域ごとの課題を聞き、我々が整理するという現在の流れになった。ファシリテーターの役割が重要になる。

○村武委員長

様々な意見があった。いただいた意見は申送り事項としてまとめ、来年度の開催に向けて協議していく。

3 はまだ市民一日議会の反省について

(1) 委員間で協議

○村武委員長

はまだ市民一日議会についての反省や改善点があれば、意見をもらいたい。

○川上委員

現在の発言者10名という人数を少し減らし、その分、一人当たりの発言時間を長くしてはどうか。10分では十分に伝えきれない方が見受けられる。

○肥後委員

私も同感である。発言時間をもう少し長くしたほうが良い。また、議員が答弁している間、発言者の持ち時間が進むのは、少し気の毒に感じる。発言者の持ち時間10分を確保し、議員の答弁時間は別に設けるなど、配慮が必要である。

4 その他

○村武委員長

その他、何かあるか。

次回の日程だが、定例会議の日程に合わせ、8月25日月曜日午後1時30分からでよいか。

(「はい」という声あり)

本日は長時間にわたり審議いただいた。

以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[15 時 38 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ